５．ＭＲＩ検査

当院では、平成 24 年 3 月末より医療機器整備の一環として「ＭＲＩ装置　PHILIPS 社製　Ingenia1.5」を設置しています。

従来の装置と比較して、鮮明な画像が得られ、短時間で検査が行えるようになっています。また、検査空間が広がり圧迫感を押さえた構造となっています。

頭部、肝臓、骨盤など部位を限定した検査はより詳細になるとともに、全身を一度に撮影する検査にも対応しています。

新しく、「乳腺検査」、「造影剤を使用しない各種血管撮影」、「全脊椎検査」、「※心臓検査」などの検査が行えるようになりました。※冠状動脈撮影には対応していません。

その上、ＭＲＩ検査は放射線の被曝がなく、安心して受けていただける検査となっています。なお、体内に機械、金属等を埋め込まれている患者様は、検査ができない場合がありますので、ご了承ください。

＜主な検査＞

ＭＲＩ検査は、ＣＴ検査に比べて、各臓器や組織間の濃度差がはっきりしており、脳梗塞や腫瘍、筋肉、靭帯などの評価が行いやすい特徴があります。

造影剤を使用しない検査が主ですが、腫瘍の評価には造影剤を使用することがあります。

・頭部撮影（脳梗塞や脳腫瘍などの精査）
・頚椎・腰椎撮影（脊柱管狭窄症や圧迫骨折の評価）
・上肢や下肢の関節撮影　（筋肉、靭帯損傷や骨挫傷などの精査）
・乳腺撮影（腫瘍の精査）
・心臓撮影（心臓の動きや心筋の精査）　※　冠動脈撮影には対応していません。
・子宮、卵巣撮影（腫瘍の精査）
・前立腺撮影（腫瘍の精査）
・各血管の評価（主に非造影で行います）
・その他、各腫瘍や外傷、感染症の精査

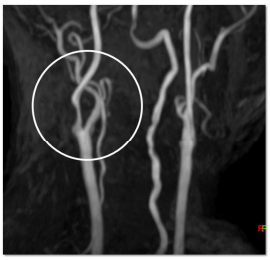
※　詳細については、「5-1 ＭＲＩ検査を受けられる方へ」、「5-2 造影検査を受けられる方へ」をご確認ください。

＜当院の取り組み＞

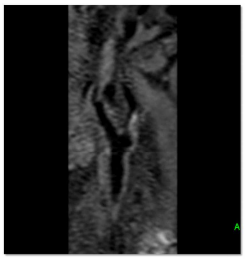
当院では、お忙しい中、来られる患者様のために、当日でのＭＲＩ検査を実施しております。なお、1 回の検査に 30 分ほどかかりますので、数時間程度お待ち頂くことがありますので、ご了承ください。

＜主な画像＞

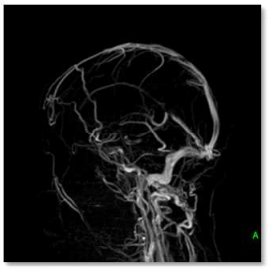
ＭＲＩ検査では、造影剤を使用しなくても血管を画像化できる特徴があり、次の画像は、造影剤を使用していません。（非造影に対応していない検査もあります）



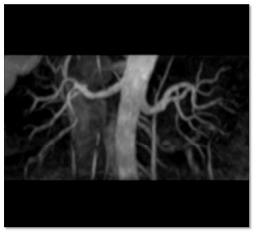
頸動脈の狭窄（非造影）



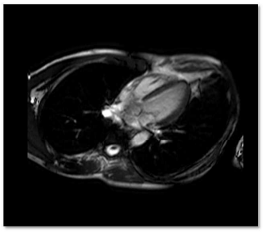
プラーク撮影（左と同じ）



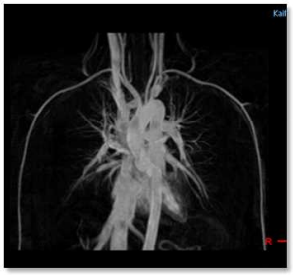
頭部静脈（非造影）



腎臓動脈（非造影）



心臓撮影（非造影）



胸部動脈（非造影）

下肢動脈（非造影）